

登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は旧西市民病院及び東市民病院から継続して、350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応じていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。

登録医の先生方には

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

インターネット予約について

IDとパスワードを用いて、当院ホームページ「医療機関向けインターネット予約」から、24時間予約（予約日の1か月前～予約前日の13時まで）をお取りいただくことができます。また、入力・選択していただいた内容を「診療情報提供書」および「予約票」として印刷して、その場で患者さんにお渡ししていただけます。是非ご利用ください。



予約に関するお願い

- 患者さんのお名前を記入頂く際に、旧姓の記入にご協力ください。（過去に旧市民病院を含め当院に来院されていた場合、カルテ情報が重複する事を防止するためです。）
- 予約希望日は必ずご記入ください。また避けてほしい日程があればこちらもご記入ください。
- CT・MRIの検査依頼書を記入する際には、単純もしくは造影を○で囲んでください。

*FAX及びWEBであらかじめご予約を取っていただきますと、患者さんの待ち時間の軽減となりますので、是非ご利用ください。
また9月22日より、FAX予約用診療情報提供書、画像検査依頼書が一部変更となっております。
当院ホームページよりダウンロードが可能ですので、そちらを使用して頂くようお願い申し上げます。

東播磨小児在宅医療連携協議会 主催フォーラム ～在宅医療的ケア児（者）への災害対応～

- 日 時** 平成30年11月24日（土）15時～18時
場 所 加古川中央市民病院 光（きらり）ホール
内 容 熊本の震災時に障がい児・者の災害対応システム作りにご尽力された木村重美先生をお招きし、避難弱者に対する支援について、様々な立場から「地域としてできることは何か」を考えたいと思います。

加古川中央市民病院 第5回小児科公開講座

- 日 時** 平成30年11月20日（火）13時～15時（受付：12時30分～）
場 所 加古川中央市民病院 光（きらり）ホール
内 容 第1部 「冬の感染症対策について」 ～こどもを感染症から守るために～
 第2部 「子どもの病気の初期対応」

上記セミナーの参加申し込みに関しては、当院ホームページをご覧ください。

患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654

http://www.kakohp.jp/medical_person/



きらり

vol.15

2018年11月

加古川中央市民病院 地域連携情報誌



巻頭言
多職種で構成される
チーム医療体制の重要性について …2
診療ドクター紹介 ……3
連携医紹介 ……6-7
連携室ニュース ……8

特集 4-5

成人先天性心疾患の
チーム医療

巻頭言

加古川中央市民病院 副理事長
(兼)副院長
(兼)心臓血管外科 主任科部長

おおぼ ひでふみ

大保 英文

多職種で構成される チーム医療体制の重要性について

多職種で構成されるチーム医療の代表ともいえるNST活動は1970年代に米国で始まったとされています。日本では平成16年に日本病院機能評価機構でとりあげられ、平成18年には診療報酬改正で栄養管理実施加算が新設され、瞬く間に国内に普及したのは記憶に新しいところです。NST導入前は手術の合間に術後管理として自分で患者さんのカロリーなどを考える必要があり、栄養管理はどうしても遅れがちでした。手術が終わって病棟に戻った時にNSTからすでに病棟患者さんの栄養の指示が出ていると、つくづく便利な時代になったと感嘆したものです。その後チーム医療は次々と広がりを見せ、私がぱっと思いつくだけでも、緩和ケア、褥瘡、呼吸ケア、心臓リハ、感染制御、抗菌薬適正使用支援、フットケア、リエゾン、糖尿病・・・と多数あり、今ではチーム医療が無くてはならない時代となっています。当院では従来より消化器センター、心臓血管センター、こどもセンター、周産母子センター、がん集学的治療センターと5つのセンターを設け、患者さんを中心として複数の診療科が診断、治療に加わるチーム医療を重視した仕組みとしております。診療部間でのチーム医療も盛んに行われており、たとえば私の所属する心臓血管外科では形成外科との重症虚血肢に対する合同手術や放射線科、循環器内科とのステントグラフト、TAVRなどが行われています。また先天性心疾患のチームはこどもセンターと心臓血管センターをまたぐ形で活動しており、術前の評価から、手術、術後管理、リハビリまで、診療部のみならず文字通り多職種でのチーム医療体制が重要となっています。きりり本号ではこの先天性心疾患チームの成人領域での活動のご紹介を行っております。成人先天性心疾患は近年患者さんの増加とともに注目されている領域ですが、国内で積極的に扱う施設はまだ少数でございますのでご一読いただければ幸いです。

診療ドクター紹介

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 形成外科

検索



当院の診療担当医師を紹介いたします。ご紹介頂く際にご参照ください。

形成外科

形成外科 主任医長

いわたにひろあつ
岩谷 博篤

専門
分野

形成外科全般



形成外科の対象範囲と疾患は多岐にわたっており、代表的な疾患としては熱傷、顔面外傷（顔面骨骨折を含む）、口唇口蓋裂・合指症・多指症・内反症・折れ耳や埋没耳・臍突出症などの先天奇形、皮膚・皮下腫瘍、傷跡・ケロイド、褥瘡・足壊疽などの難治性潰瘍、といったものがあります。その他、当院では静脈瘤、リンパ浮腫といった治療も行っております。患者さんにわかりやすい説明を行い、その上でしっかりした治療を行うことを心がけております。対象疾患かどうか迷われる場合も、遠慮なくご紹介いただければ幸いです。

形成外科 医師

やぎ せせぐ
八木 献

専門
分野

形成外科全般



形成外科全般の診療を担当させていただいております。日々の診療におきましては、患者さんのお話に耳を傾け、丁寧な説明を行うこと、的確な治療を行うことを心がけております。形成外科の診療内容は多岐にわたります。

困難な症例や、外傷などの急を要する疾患に対しても、可能な限り治療に当たらせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



形成外科 医師(専攻医)

いちかわ えり
市川 恵梨

専門
分野

形成外科全般



2018年4月より当院形成外科で勤務しております市川と申します。平素より患者さんのご紹介を多数いただき、誠にありがとうございます。形成外科では主に体表の疾患を対象としており、見た目にわかりQOLに直結するものが多いと感じています。患者さんに満足していただけるよう、丁寧に診療に当たることを心がけております。若輩者ではありますが日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。





成人先天性心疾患の チーム医療

現在、国内で先天性心疾患を持つ成人は50万人以上で1年に1万人ずつ増加していると言われています。今年の1月には小児循環器学会、循環器学会を含む8学会が合同で「先天性心疾患の成人への移行医療に関する提言」を発表し、成人先天性心疾患の医療体制確立の必要性が発信されました。当院でも小児期、青年期に手術を受けた患者さんの再手術、未治療のまま成人になった患者さんや成人期に初めて診断された先天性心疾患患者さんの手術が増えており、本年4月にチームを結成し、以後知識を高めるための勉強会と実際の患者さんの対応を検討するカンファレンスを定期開催しております。手術で最も多いものはフォロー上四徴症術後の肺動脈弁置換ですが患者さんの中には専門施設でのフォローアップがない方もおられ不整脈をきっかけに再手術適応に気づかれる方もおられます。調子が悪いのは年齢のせい、と思っている方もいます。働き盛りで再手術を躊躇していたけどチームメンバーの介入によって決心され、手術を経て元気になった患者さんもおられ、チームの意義を再確認しました。先天性心疾患の術後や未治療の患者さんで調子がいいのか悪いのかわからないので一度検査を、とかどのくらい負担をかけていいのか分からない等、どんなことでもご相談下さい。前述の提言の中では地域の医院、病院との連携の必要性も謳われております。地域の医療機関の皆様とも力を合わせて先天性心疾患の患者さんに寄り添って最善の医療を提供できるように努めてまいります。宜しく願いいたします。



心臓血管外科 科部長

圓尾 文子



循環器内科 科部長

白井 文晶

当院循環器内科では、循環器疾患全般に対して最先端医療機器を用いて診療を行っており、救急医療にも注力しております。2018年4月より先天性心疾患チームが発足し、さらに多くの患者さんに対して診療を行えるようになりました。先天性心疾患患者さんの約1/3は疾患重症度が中等度以上の患者さんであり、綿密な経過観察が必要となります。疾患重症度が高ければ診療も難しくなりますが、その理由としては、複数回手術を受けている患者さんが多く、解剖学的構造と血行動態の把握が困難であることが挙げられます。当院では、最先端医療機器を用いて侵襲度の少ない心臓MRIや経胸壁心エコー図検査を中心として積極的に画像診断を行うようにしています。経過観察の中で再評価が必要であると考えられる患者さんに対しては、造影CTによる詳細な解剖学的構造の把握と心臓カテーテル検査による血行動態の評価を追加しています。不整脈発作の出現や急性心不全など急性期疾患に対する救急対応も可能ですので、いつでもご紹介いただければと考えております。



循環器内科 医長

金子 明弘



臨床検査室では、心臓超音波検査を年間約7500件行っており、そのうち約300件は成人先天性心疾患患者で、小児期から成人期への移行患者も含め、その数はさらに増加しています。また、成人先天性心疾患患者の経過観察として心臓超音波検査による心機能の評価だけでなく、運動負荷心電図（エルゴメーター、CPX）による運動耐用量や不整脈の検査なども行っています。たとえ複雑な病態の症例であったとしても、必要な情報を臨床へ提供できるように専門的知識を有する医師と連携して検査を行う態勢をとっています。

先天性心疾患は種類も多く治療方法も多彩で、疾患ごと患者ごとの最終的な術式も異なるため、検査を行う上で術後の血行動態や合併症、遺残症、不整脈など臨床的問題点を把握することは重要です。そのためスタッフ一同、積極的にカンファレンスや勉強会に参加し、より一層検査の質を高めチーム医療に貢献できるよう努めています。



外来1 副師長 看護師

卯内 かおり

心疾患を有する患者さんに対して、入院時から心臓リハビリテーション指導士の資格を有する理学療法士らが、心疾患患者さんの運動療法や再発予防に向けた包括的プログラムを実施しています。外来心臓リハビリテーション（以下、心リハ）を受けられる患者さんのほぼ全例で心肺運動負荷試験（CPX）を受けていただき、適切な運動療法が実施できるように努めています。

現在、成人先天性心疾患を有する患者さんも少しずつ増え、外来にて他の心疾患患者さんと同様に集団心リハを実施しています。先天性心疾患を有する患者さんの多くは、幼少期より心疾患の状態に合わせて生活をされるため、運動耐容能低下に気づかないことが多いと言われています。それに加え、社会や周囲から過度に運動を止められている場合もあります。そのような方々に対し、当院にてCPXを受けていただき、医師の処方のもと適切な生活活動レベルの提示や運動方法等について心リハの中でご説明させて頂いています。

成人先天性心疾患 担当医師 外来

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器内科				本多			白井		白井・金子・城戸	
心臓血管外科			山口	圓尾			圓尾	圓尾		
産科 胎児心エコー	佐藤									
小児科		阪田	阪田	佐藤			阪田		佐藤	佐藤



臨床検査室 臨床検査技師

桃井 裕亮

当院ではこの4月から成人先天性心疾患のチームが立ち上がり、看護では循環器疾患の知識を持った看護師が中心となり、医師をはじめ多職種と日々連携をとりながら支援にあたっています。

幼少期から継続した治療を受け、成人期に移行した患者さんの中には、再手術やペースメーカー埋め込みなどの侵襲的な治療が必要な方がおられます。また、先天性心疾患を持ちながら成人された方の中には、社会に出て自立した生活が送れない患者さんもおられます。このような患者さん達は、不安が強くひとりひとり様々な問題、悩みを抱えながら生活し、なかなか治療に踏み切れないことがあります。私たち看護師は、医師の説明後患者さんひとりひとりの言葉に耳を傾け、意思決定できるような関わりをしています。実際に関わった患者さん達は、自ら意思決定ができ治療を受け元気に社会復帰されています。

私たち看護師は、患者さんに一番近い存在であり、気持ちに寄り添える立場にあります。疾患を抱えながらも自立した生活が送れるよう、チームの一員として活動していきたいと思っています。



リハビリテーション室
理学療法士

大西 伸悟

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

森内科医院

診療科：内科

院長の森要之と申します。よろしくお願い致します。

当院は昭和51年12月に父の森靖雄が開業し、平成21年5月より私が継承しております。主に内科一般、生活習慣病を診療しており、特に糖尿病を専門として、外来でのインスリン導入も行っております。検査は心電計、X線診断装置と腹部超音波検査は行えるように備えています。

小規模なクリニックで多数の患者様の対応は難しいですが、患者さんの訴えや要望にできるだけ丁寧に対応できるよう心掛けております。

加古川中央市民病院様には画像検査や内視鏡検査、急性疾患の対応で大変お世話になっており、紹介受診や入院を快く引き受けて頂き、大変感謝しております。糖尿病を始めとした慢性疾患のフォロー等で病診連携に貢献していきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



院長：森 要之 先生



所在地：加古川市平岡町新在家104-4

駐車場台数：3台

TEL.079-426-1001

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—

いるか心療所

診療科：心療内科／精神科

開業して早や10年。加古川中央市民病院在籍中は「もの忘れ外来」を開業し、認知症医療に力を入れていた関係上、認知症の日常診療と、認知症サポート医として東播認知症連携協議会、医師会などを通じての地域連携活動に力を入れています。

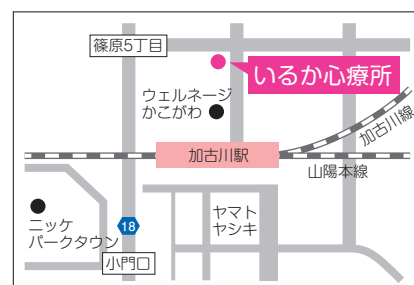
診療は予約制ですが、当然ながら予約なしで来院された方でも、初診、再診とも全て即日診療しており、利便性を確保しています。

認知症の診療としては、早期診断治療のための「物忘れ外来」、患者さんと介護者が疾患を理解し適切に対応できることを目的とした「心理教育」、疾患初期でデイサービスを利用するには元気すぎる方を対象とした「認知症リハビリ(コグニサイズ)」、在宅診療、介護サービスとの密接な協力の為の「居宅介護支援事業所」を行っています。認知症以外の一般精神疾患も多数診療しています。

中央市民病院をはじめ、地域の諸医療機関の皆様には日頃大変お世話になっており、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。



院長：九鬼 克俊 先生



所在地：加古川市加古川町篠原町111

医療ビルおいしゃさん301号

駐車場台数：90台

TEL.079-451-8322

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
午後 15:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—

くろだ小児科

診療科：小児科／アレルギー科

阪神淡路大震災の翌年(平成8年4月)に、14年間お世話になった加古川中央市民病院を辞し加古郡播磨町で開業しました。

一般小児疾患だけでなく長年アレルギー外来を担当していた関係で、気管支ぜんそくや食物アレルギーの患者さんが多く来院されます。地域の子供達や保護者の方々と親しくなり、身近に子ども達の成長を見守る仕事も勤務医とは違う楽しみがあります。

開業医の仕事を続けていく上で、いつでも急患に対応していただける加古川中央市民病院の存在は大変ありがたく、心強く思っています。最近、医師会の禁煙ひろめ隊の一員として子ども達に対する禁煙教育や食物アレルギー児の対応指導のため幼稚園や学校へ出かける仕事も増えてきました。地域の子供達が健やかに育つため微力ながら頑張っていこうと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



院長：黒田 英造 先生



所在地：加古郡播磨町南大中1丁目1-25

駐車場台数：25台

TEL.079-430-2111

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 16:00~18:15	○	○	○	—	○	—	—

山名クリニック

診療科：小児科／内科／外科／循環器内科／消化器内科

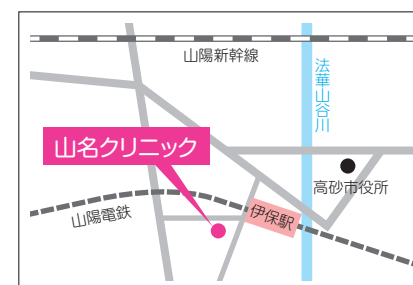
高砂市で開業後、「山名小児科」として地域の小児科診療に従事してまいりましたが、2018年4月より「山名クリニック」へ名称変更いたしました。新たに循環器および消化器領域を専門とする2人の医師を加え、小児科診療とともに内科・外科診療を開始し、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者様に対応できるクリニックに生まれ変わりました。

「山名クリニック」に名称変更後も、患者様の立場に立って診療させていただき、診療方針を納得いただけるまで説明し、地域患者様の健やかな毎日を応援するため病気の予防に注力するといった当クリニックの方針は変わりありません。

加古川中央市民病院の先生方には、当クリニックで対応困難な患者様を快く引き受けていただき心より感謝申し上げます。今後も加古川中央市民病院との連携を更に密にし、より良い医療を貢献できるクリニックでありたいと思っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



院長：山名 克典 先生



所在地：高砂市伊保崎南9番8号

駐車場台数：50台

TEL.079-448-1313

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:45~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 15:00~18:30	○	○	○	—	○	—	—

【小児科/内科/循環器内科休診日】 日・祝／木・土 曜午後
【外科/消化器内科休診日】 日・祝／火曜午前/木・土 曜午後